

2012年2月13日

1985年生まれの定番シューズがさらに履きやすく サッカーシューズ「MORELIA II」リニューアル

ミズノは、さらにフィット感を高めたロングセラーのサッカーシューズ「MORELIA II (モリア ツー)」を2月上旬より順次、全国のミズノ品取り扱い店・約300店で発売します。

「MORELIA II」は、1985年の発売以来、その軽量性・柔軟性・素足感覚のフィット感が評価され、大きなモデルチェンジをせず現在に至る、サッカーシューズとしては異例のロングセラーモデルです。柔らかくて軽い最上級のカンガルー革を使用し、前足部の設計やスタッドの配置など、微妙なボールの感触を足指に伝え素足感覚でプレーできる工夫が施された、ミズノサッカーを代表する定番モデルです。

今回、つま先部分の裏地に、天然皮革特有の伸びを適度に抑える素材を新たに使用し、タングも自然に足に沿う形にリニューアルすることで、さらにフィット感を高めました。

「MORELIA II」の1年間の販売目標は、14,000足です。



「MORELIA II」 ¥17,745 (税込価格)

「MORELIA II」開発ストーリー

1980年、国内でのミズノサッカーシューズの販売足数は約4万足でした。当時サッカーシューズビジネスを本格化するには、世界のトップ選手が使用できるモデルの開発が急務でした。

この年、ミズノのサッカーシューズの改善すべきポイントをまとめて入社した社員がいました。のちに「モレリア」の企画担当者となった彼は、当時契約関係にあり日本人で初めてブラジルのプロサッカー選手になった水島武蔵氏からアドバイスをいただいて新シューズの開発に着手。試行錯誤の末、1985年「モレリア」を完成させました。ブラジルへ行って選手たちに履いてもらおうと、サッカーシューズは折りたたんでポケットに入るほど柔軟で軽いものが理想としていた本場の選手たちも、シューズの完成度に驚いていました。「モレリア」の履き心地の良さは口コミで広がり、1986年のメキシコの世界大会では、日本製のシューズを履いた選手が初めて得点を挙げた世界大会となりました。

「モレリア」は1991年にアウトソール、中底材などの仕様を改善して現在の「モレリアII」となりました。その後ミズノのサッカーシューズの定番モデルとして、多くの選手に使用され、ビジネスの中核を担う商品となりました。ミズノのサッカーシューズは2010年度に全世界で約110万足を販売しています。

「MORELIA」シリーズ 使用選手

| | | |
|----------|----------|---------------|
| 中村憲剛選手 | 川崎フロンターレ | モレリア II |
| 相馬崇人選手 | ヴィッセル神戸 | モレリア イージーオーダー |
| ジュニーニョ選手 | 鹿島アントラーズ | モレリア II |
| 小川佳純選手 | 名古屋グランパス | モレリア イージーオーダー |
| 柳沢敦選手 | ベガルタ仙台 | モレリア II |
| 平山相太選手 | FC東京 | モレリア II |
| 関口訓充選手 | ベガルタ仙台 | モレリア イージーオーダー |
| 永井謙佑選手 | 名古屋グランパス | モレリア NEO |

(2011年12月現在)

記

商 品 名 : 「MORELIA II」

価 格 : ¥17,745 (本体¥16,900)

※記載価格は消費税込みの金額です。()内は消費税抜き本体価格です。

素 材 : 甲材=天然皮革 (スコッチガードカンガルー)
底材=合成樹脂

質 量 : 約260g (27.0cm片方)

カ ラ ー : ブラック×ホワイト

サ イ ズ : 22.0cm~29.0cm

原 産 国 : 日本 (付属のシューズ袋 : 中国製)

販 売 目 標 : 14,000足 (発売から1年間、シリーズ全体)

(マスコミのお問合せ先)

東京広報課 澤井・宮本 TEL. 03-3233-7037

大阪広報課 高橋・木村 TEL. 06-6614-8373

(ユーザーのお問合せ先)

ミズノお客様相談センター ☎ 0120-320-799

*ミズノサッカー情報は <http://mizunofootball.com/>